

品質は
自然の中に



農産食品産業への投資 北米市場での勝機



カナダは最適な投資国です
本資料をご参照ください



Government
of Canada

Gouvernement
du Canada

Canada 



北米自由貿易協定 (NAFTA) により、カナダ、米国、メキシコを合わせた人口 4 億 3500 万人の巨大な市場が形成されています。私達の北米市場は伝統的で革新的な食品や飲料製品を供給する企業にとって儲けの構造を持った優れた事業機会にあふれています。

食品・飲料製品分野の米加間の貿易収支は、カナダに有利な状況が続いています。同分野におけるカナダの対米貿易黒字は、2005 年に 25 億米ドルを記録しました。このような状況を生み出している原動力をご理解いただくことは、貴社の事業にもお役に立つことでしょう。

おいしさを健全な利益に転換

食品・飲料製品生産は、非常に競争の激しい産業分野です。けれども、北米市場におけるカナダのメーカー・流通業者が強い競争力を生み出している背景には次のような条件があるからです。

これらの企業はカナダに進出して成功しています。その理由は次のページをご参照ください。

アーチャー・ダニエルズ・ミッドランド
ダウ・アグロサイエンス
フリトレイ・カナダ
ハインズ
ハーシーフード・コープ
マーズ・インク
マコーミック&カンパニー・インク
ネスレ・カナダ・インク
ピュラトス
ユニリーバ

- 生産性ならびに信頼性の高い労働力
- 製造コストの優位性
- 安全で高品質の原料の安定した供給
- 人口密度が高い市場に近接
- 高度な食品技術

コストと生産条件の優位性について、次のページをご参照ください。

投資はカナダへ：事業拡大はカナダの日常性です



© UNILEVER CANADA

成長はユニリーバのように！

国際的大手食品メーカーのユニリーバは、最も人気のあるブランドのうちの一つであるリプトンとクノールのブランドの北米生産拠点をカナダに設けています。2006年には、ユニリーバ・カナダがオンタリオ州ブラマリー工場の新規事業のために工場拡張を計画しています。この工場は、リプトンとクノールブランドの北米市場全体向けの副菜食品を生産し、効率の高い生産実績を上げていましたが、スープ製品については最近までカナダ市場向けのみを生産していただけでした。しかしながら、カナダ工場の優れた業績に基づき、米国市場向けのスープ製品の生産も含めるべく親会社が事業内容の拡大を決定したのです。



© OCEAN NUTRITION CANADA

成長はオーシャン・ニュートリションのように！

オーシャン・ニュートリション・カナダ (ONC) は、世界の栄養補助食品・健康食品市場向けに MEG-3® ブランドのオメガ3 脂肪酸 (EPA/DHA) の原料を供給する企業であり、北米、欧州、アジア、オーストラリアの企業に高品質の海洋性の原料を販売しています。魚油から生産する濃縮長鎖オメガ3 脂肪酸の最大メーカーである ONC は、世界で初めて自社の油脂 11 種について米国薬局方 (USP) の認定を受けています。同社は現在、世界 18 カ国で取得済みあるいは出願中の 68 件の特許を含めて、19 件の特許ファミリー (新規成分、加工法、用途) を有しています。



© NISSHIN FLOUR MILLING INC.

成長は日清製粉のように！

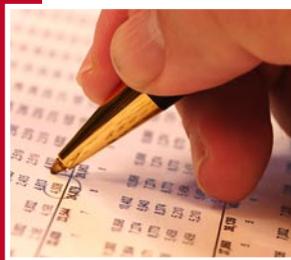
日本の日清製粉 (株) は、カナダ国内市場ならびに国境のすぐ南にある米国市場での事業拡大のため、17 年前に買収したカナダ工場の生産能力を倍増しています。日清製粉は、高品質の小麦粉と天然全粒穀物製品で知られているブリティッシュ・コロンビア州アームストロング市のカナダ企業、ロジャーズフーズ社を 1989 年に買収しました。当初、日清製粉はアームストロング製粉工場の拡張と近代化を支援しましたが、同社製品が需要に追いつかなかったため、ロジャーズは 2005 年に同州チリワック市に新工場を建設しました。日産 250 トンに上る新工場の操業開始により、バンクーバー地域ならびに米国西海岸地域のペーカリー・食品加工市場への小麦粉販売が拡大しています。

「ハリファックスは、発達した海洋科学研究と多くの専門家、高学歴の安定した労働人口、研究開発優遇税制、米国・欧州市場への容易なアクセス、といった好条件を備え、当社の発展に最適な場所です。オーシャン・ニュートリションの成功は、すぐれた社員とユニークな製品を開発する想像力および技術革新に対する地域社会の大きな支援によってもたらされたものです」

オーシャン・ニュートリション
代表取締役社長兼 CEO ロバート・オア



農産食品事業の利益を拡大 米国より 4.0% 有利な カナダの事業コスト



2006年3月、KPMGは合計9カ国、米国、カナダ、英国、フランス、ドイツ、イタリア、オランダ、日本、シンガポールにおける食品加工事業コストを詳細に比較した調査結果を発表しました。

その結果、カナダは米国と比較して4.0%のコスト優位性を示しています。

このコスト優位性により、売上高に対する純利益率はカナダで6.9%となり、3.1%の米国に比べ倍以上の利益率となるのです！

調査対象国の中で、農産食品生産のコストが米国より優れている国は他にもありますが、米国市場へのアクセスの良さという点でカナダに匹敵する国はありません。北米自由貿易協定 (NAFTA) により、カナダ

には米国市場への優れたアクセスが保証されています。また、カナダの大都市の20都市のうち、17都市が米国との国境まで車で1時間半の距離に位置しています。

北米各地の農業食品加工生産のコスト比較では、ケベック州シャープルック市が最もコストが低く第一位、アルバータ州エドモントンが第三位、オンタリオ州ウォータールー地域が第四位となりました。

KPMGが用いたビジネスコストモデルは、菓子製品や、保存用包装済み食品あるいは乾物・缶詰などの食品のような中程度の価格レベルの非生鮮食品を生産する小規模な独立系食品加工業者を想定したものです。



投資家向けの画期的新ツール！

調査報告書を補完するものとして、KPMGはウェブベースのコストモデルとインタラクティブなウェブサイトを作成しました。このサイトを利用すれば、投資家は128都市以上の10年にわたる事業設立・運営コストを簡単に試算・比較することができます。

米国と比較したカナダの税引後のコストの優位性をご自分の目でお確かめになりたいですか？それでは、このウェブサイトのデータをご覧ください。ご自身の基準条件を使い、自由に比較しながら事業立地・拡大の候補地を選んでみてください。

カナダの真実をこのサイトでお確かめください。

www.CompetitiveAlternatives.com



食品加工の年間コストの比較

主要要素別コスト (単位:1000 米ドル)

	北米		欧州					アジア太平洋地域	
	カナダ	米国	ドイツ	イタリア	英国	フランス	オランダ	日本	シンガポール
収益	29,400	29,400	29,400	29,400	29,400	29,400	29,400	29,400	29,400
コスト									
給とおよび賃金	4,169	4,403	5,097	3,654	4,244	3,649	4,294	6,451	2,544
法定福利厚生	428	554	1,280	1,059	543	1,483	622	1,173	299
その他福利厚生	880	1,376	1,245	913	1,576	677	1,470	742	401
人件費・福利厚生費合計	5,477	6,332	7,622	5,625	6,363	5,808	6,385	8,366	3,244
輸送費	1,291	1,870	619	1,046	492	720	381	1,055	488
光熱費	761	859	1,024	854	662	709	630	1,251	824
利子・減価償却費	884	1,021	1,266	922	1,005	932	1,004	1,147	478
所得税以外の諸税	240	260	122	132	242	207	22	241	38
立地の影響を受けないコスト	17,640	17,640	17,640	17,640	17,640	17,640	17,640	17,640	17,640
所得税課税前の利益	3,107	1,417	1,106	3,182	2,996	3,383	3,337	(299)	6,689
所得税 ¹	1,067	505	543	1,393	907	1,125	995	63	1,312
実効税率	34.4%	35.6%	49.1%	43.8%	30.3%	33.3%	29.8%	なし	19.6%
税引後利益	2,040	912	563	1,788	2,089	2,258	2,341	(362)	5,377
売上高に対する純利益	6.9%	3.1%	1.9%	6.0%	7.1%	7.7%	7.9%	(1.2%)	18.3%
年間総コスト	27,361	28,487	28,837	27,612	27,311	27,141	27,058	29,762	24,024

1. 所得税は、所得税課税前の利益が黒字か赤字かに関わらず、経費控除規則、最小税率、還付が受けられる所得税控除などの影響により、プラスになることもマイナスになることもあり得る。生産性が低いために結果が有意でない場合には実効税率は表示されていない。

出所: Competitive Alternatives: KPMG 国際ビジネスコストに関するガイド 2006 年版

KPMG ビジネス調査2006年版

「カナダにおける当社の事業拡大は、カナダでの事業が最高水準のものであること、そしてカナダならびに米国市場において事業の成功を目指す企業にとってカナダは優れた事業拠点であることの証です。優れたコスト競争力と高い品質を両立させた食品生産が可能であることを当社は実証しているのです」

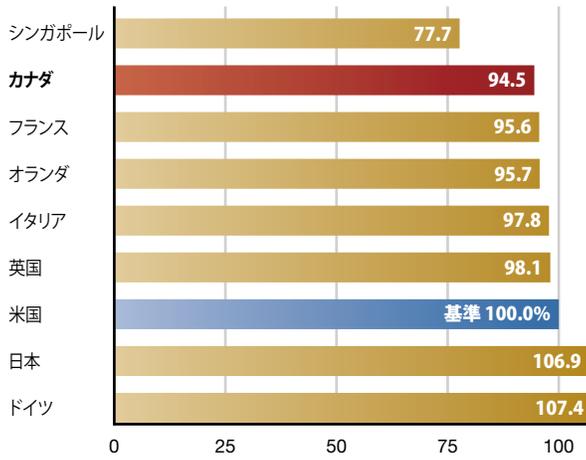
ユニリーバ・カナダ
代表取締役社長 ジェフリー・オールグローブ

「ジェネラルミルズは、市場で高い知名度を誇るいくつかのブランドを通してカナダの家庭の食卓に革新的な食品をお届けしています。当社の優れたブランドと優秀な社員が一丸となって、カナダ市場においてジェネラルミルズを成長へと導いているのです」

ジェネラルミルズ・カナダ
代表取締役社長 クリスティ・ストラウス

年間コスト比較 — 12 業種平均

12 業種の総合事業コスト*
米国と比較したパーセント

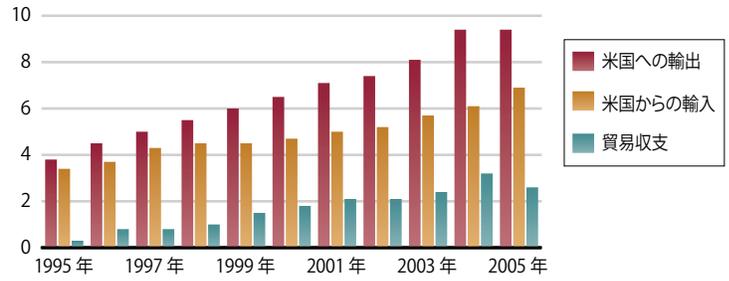


* 総合事業コストは立地の影響を受けるコストと立地の影響を受けないコストの合計。
出所: Competitive Alternatives: KPMG 国際ビジネスコストに関するガイド 2006 年版



加工食品・飲料製品のカナダの対米貿易

(単位: 10 億米ドル)

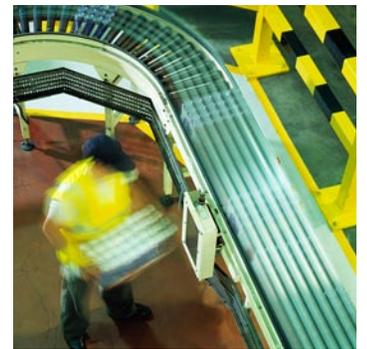


* 出所: カナダ統計局

食品加工生産性において カナダは 16 カ国中第一位

2005 年 11 月、英国の分野別技能開発庁 (Sector Skills Development Agency) は技能と生産性の国際調査報告書 An International Study of Sector Skills and Productivity を発表しました。それによると、食品・飲料製品分野では、カナダが第一位、英国が第二位となっています。

この調査では、産業の生産性を測る最も包括的な方法として広く認められている全要素生産性 (TFP) の比較が行われました。TFP には、教育、訓練、技術的優位性、組織的優位性、運営上の優位性の寄与などが含まれています。



カナダがビジネスに最適な場所である理由は？

堅固で安定した経済

カナダは G7 諸国中唯一、近年において一貫して財政黒字を記録してきた国です。2005-2006 会計年度にはカナダは 8 年連続の財政黒字を記録しています。一方、カナダのインフレ率は 2000 年から 2004 年までの平均は 2.4% でしたが、2005 年にはさらに低下し 1.7% となりました。

優れた人材とマネジメント

カナダは大学卒または専門学校卒の国民の割合が世界のトップに位置しています。職場の安定性と企業への忠誠心でも北米で極めて高い数字を記録しています。さらに、多言語能力を備えたカナダの労働力は企業が世界的な成功を収めるための貴重な人的資源となっています。



有利な賃金報酬

KPMG の 2006 年版ビジネスコスト調査によれば、カナダの労働コストは G7 諸国中最も低く、米国の労働コストと比較すると著しく低いという結果が出ています。米国の労働コスト（福利厚生費含む）の平均は、一般的にカナダの労働コストよりもほぼ 12% 高いことが明らかになっています。

国民皆健康保険制度によりビジネスコストが低減

カナダの公的健康保険制度により、企業による社員の健康維持が容易になり、社員の福利厚生費が大幅に低く抑えられています。

「ロジャーズフーズは、最高を目指すカナダの伝統的な熱意と、画期的な新技術ならびに一流の輸送システムとを融合して、高品質の穀物製品を米国市場向けに販売しています。そして、当社の米国市場における成功は拡大する一方です」

ロージャーズフーズ
代表取締役社長 ヴィク・ベル

手厚い研究開発優遇税制

カナダの研究開発優遇税制は、世界の工業国の中で屈指の手厚いものとなっています。KPMG の 2006 年版「Competitive Alternatives」調査報告書は、バイオテクノロジー分野の研究開発で、カナダは米国と比べ 10.9% のコスト優位性があることを示しています。



北米市場へのアクセス

北米自由貿易協定 (NAFTA) により、カナダに拠点を置く企業には、消費者人口 4 億 3500 万人、GDP 12 兆米ドル以上という巨大市場へのアクセスが確保されます。カナダと米国は世界最大の貿易パートナーであり、米国との貿易では、カナダは中国、メキシコ、日本にも勝っています。

投資家を大歓迎

世界銀行グループの報告書「Doing Business in 2006」では、カナダは世界屈指の優れたビジネス環境を備えた国と評価されています。その理由のひとつは、カナダでは通常、企業設立に要する時間は 3 日、手続きは 2 つのみとなっていることです。

北米では最高の立地

エコノミスト・インテリジェンス・ユニット (EIU) は、2005 年から 2009 年の間にビジネスを行う国としてカナダは世界で二番目に優れた国となるであろうと予測しています（第一位はデンマーク）。その理由としては、貿易・外国投資に対する開放性、質の高いインフラストラクチャ、北米市場における優れたビジネス機会が指摘されています。



品質は 自然の中に

カナダ産製品のブランド構築への積極的なサポート

カナダの法律と規則は、カナダ食品検査庁をはじめとするカナダ政府機関によって厳格に実施され、食品・飲料製品産業の全領域にわたり世界レベルの生産規格となっています。カナダが食品安全と環境管理に熱心に取り組んでいることは世界的に広く認められており、それが、消費者から寄せられる信頼の増大、ならびに、国際市場におけるカナダ産農産品・食料品の受け入れの拡大にも寄与しています。

カナダ農務農産食品省は、カナダからの農産品・食料品の輸出を支援するため、多様なプログラムならびにサービスを実施しています。その例としては、カナダの食品・飲料製品のブランドを国際的に支援するための予算と人材を備えた戦略や、国際市場における産業全般に亘るブランドの確立とプロモーションに対して資金を提供するカナダ農務食品国際プログラム (CAFI) などがあります。



カナダの投資機会に関する更なる詳細については
下記のホームページを参照ください。

www.investincanada.gc.ca

**在日カナダ大使館
投資・科学技術部
Embassy of Canada, Tokyo**
Investment, Science & Technology Section
〒107-8503 東京都港区赤坂7丁目3-38
Tel: (03) 5412-6419
Fax: (03) 5412-6254
E-mail: tokyo.its@international.gc.ca
Web: http://www.canadanet.or.jp/i_st/

**カナダ国際貿易省
International Trade Canada**
Government of Canada
111 Sussex Drive
Ottawa, Ontario, Canada K1A 0G2
Tel: (613) 954-5031
Fax: (613) 954-2340
E-mail: investincanada@international.gc.ca

カナダへの投資をお勧めする理由については
下記のホームページをご参照ください。
www.investincanada.gc.ca

**カナダ農務農産食品省
投資局
Agriculture and Agri-Food Canada**
Investment Secretariat
930 Carling Avenue
Ottawa, Ontario, Canada K1A 0C5
Tel: (613) 759-7625
Fax: (613) 759-1667
E-mail: invest-investir@agr.gc.ca

カナダの農業ならびに
食品・飲料製品産業の更なる詳細については
農務農産食品省ホームページを
ご覧ください。

www.ats-sea.agr.gc.ca